

2018年春期(第162回)講演大会記録

2018年春期講演大会は、3月19日から21日の期間、千葉工業大学新習志野キャンパスにおいて開催した。

- 3月19日(9:00~9:40) 開会の辞、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS 代表紹介、各賞贈呈式(1号館1101)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演、本多記念講演(1号館1101)
- (13:00~15:20) 一般講演、受賞講演(5号館、7号館、8号館)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(食堂棟3階)
- (18:00~20:00) 懇親会(食堂棟2階)
- 3月20日(9:00~17:55) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、Young Leader International Scholar 講演、共同セッション(5号館、7号館、8号館)
- 3月21日(9:00~16:50) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(5号館、7号館、8号館)、企業説明会
- 3月19日~3月21日 総合受付、金属組織写真展示(5号館1階)
付設機器・カタログ展示会(7号館1階)

開会の辞

中島英治会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月19日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Kyung Tae Hong 会長が来日し挨拶した。



開会の挨拶：中島会長。



Kyung Tae Hong 会長。

TMS 代表紹介(3月19日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMS から第13回 Young Leader International Scholar として来日した代表者 Genau Amber 氏が紹介された。

贈呈式(3月19日)

中島英治会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

第63回学会賞贈呈式 掛下知行君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者；本誌191頁)

第59回技術賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌192頁)。

第68回金属組織写真賞贈呈式 優秀賞3件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌193頁)(作品；本誌204頁)。

第49回研究技術功労賞贈呈式 13名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌194頁)。

第76回功績賞贈呈式 8名(物性部門2名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセッシング部門1名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌197頁)。

第57回谷川・ハリス賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌199頁)。

第24回増本量賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者；本誌199頁)。

第28回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者；本誌200頁)。

第1回フェロー認定式 新しくフェローに認定された6名に対し認定証贈呈(受賞者；本誌200頁)。

第63回学会賞受賞記念講演(3月19日)

「極限状態下(強磁場、高圧力)におけるマルテンサイト変態、拡散変態および1次の磁気転移とそれらの電子論的解釈」

大阪大学大学院工学研究科教授 掛下知行 君

第63回本多記念講演(3月19日)

「高温融体の界面物理化学の深化—“Capillary Metallurgy”の構築を目指して—」

大阪大学大学院工学研究科教授 田中敏宏 君



受賞者の皆様です：おめでとうございます。



学会賞：掛下先生によるご講演。



本多記念講演：田中先生によるご講演。

懇親会(3月19日)

食堂棟2階において日本鉄鋼協会と合同で開催(参加者は254名、本会への申込者・招待者107名)。

開会の辞・司会

千葉工業大学教授 齋藤哲治

来賓挨拶

千葉工業大学学長 小宮一仁

日本鉄鋼協会会長挨拶

新日鐵住金株代表取締役副社長

高橋健二

日本金属学会会長挨拶・乾杯

九州大学教授 中島英治

懇談

閉会の辞

千葉工業大学教授 本保元次郎



千葉工大：小宮学長によるご挨拶。



中島会長による乾杯！

大会参加者 1,286名(一般734名、学生員371名、非会員一般40名、非会員学生16名、相互聴講125名)

学術講演会(3月19日~21日)

最終講演件数735件

欠講3件(一般講演 No.35(功績賞受賞講演)、ポスターセッション No.P86, P114)

学会賞受賞記念講演 1 件, 本多記念講演 1 件
 公募シンポジウム講演 7 テーマ142題(基調講演38題, 応募講演
 103題, 功績賞受賞講演 1 題)
 企画シンポジウム講演 4 件(基調講演 4 題)
 一般講演434題(功績賞受賞講演 6 題, 谷川・ハリス賞受賞講演 1
 題, 増本量賞受賞講演 2 題, 技術賞受賞講演 3 題, 外国人特
 別講演 1 題, Young Leader Scholar 講演 1 題含む)
 共同セッション16題
 ポスターセッション137題
 講演会場 17会場(ポスターセッション会場)

第30回ポスターセッション(3月19日)(受賞者;本誌201頁)

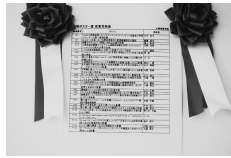
3月19日12:30~17:00の時間に食堂棟3階で137件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている124件の内容・発表について審査が行われた。第1部(12:30~14:30)73件, 第2部(15:00~17:00)64件の二部構成で開催。

一般講演は15時で終了とし, 多数の聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

3月20日「優秀ポスター賞」25件が決定し, 受賞者を本会ホームページおよび金属学会受付に掲載した。



ポスター発表風景。



おめでとうございます。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「超微細粒組織制御の基礎」4題(金属3題, 鉄鋼1題)は3月20日, 金属学会A会場で開催した。

「チタン・チタン合金」24題(金属13題, 鉄鋼11題)は3月20日~21日, 鉄鋼協会第13会場で開催した。

第13回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program (3月20日)

若手研究者の活動の活性化と TMS との国際交流促進を目的に06年より設けられた Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program として, TMS から派遣された代表者 Genau Amber 氏が一般講演「拡散・相変態」の中で Young Leader International Scholar 講演発表後, 座長より賞状が授与された。



Genau Amber 氏による一般講演。



梶原座長と一緒に。

第5回企業ランチョンセミナー(3月20日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら, 講演大会参加者に企業の最新の技術情報を聴講いただく, ランチョンセミナーを開催した。以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い, 参加者数は5社で合計161名であった。参加者および参加企業共に好評であった。

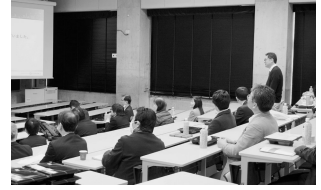
(参加企業) オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社
 TSL ソリューションズ
 日立ハイテクノロジーズ
 東芝ナノアナリシス株式会社
 モルシス

第10回男女共同参画ランチョンミーティング(3月21日)

「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマに田中貴金属工業㈱の柳沢智子氏が講演を行った。(参加者29名)



柳沢講師によるご講演。



講演後のディスカッションの風景。

付設機器・カタログ等展示会(第40回)

機器展示24社, カタログ展示1社より出展の協力を得た。展示会場は7号館1階1室で開催した。各社のご厚意に感謝いたします。

託児室

3月19日(月)~21日(水)の各日子供1名に対しシッター2名体制のもと支障なく終了した。

【大会雑記】

千葉工業大学での開催は2007年以降11年ぶりで, 新習志野キャンパスでの開催は2001年以降17年ぶりとなる。これまでは津田沼キャンパスと新習志野キャンパスの両キャンパスを日本鉄鋼協会と交互に講演会場として使用していたが, 今回は新習志野キャンパスに新しい校舎が建設されたこともあり, 両会同一キャンパスでの開催が可能となった。

講演会場は5号館, 7号館, 8号館を使用。建物が近隣にまとまっており, また鉄鋼協会と同一の建物を会場としたため, 参加者には比較的会場移動がスムーズであった。

大会最終日に開催した第4回の企業説明会はブース説明会参加企業36社, 参加学生は166名で盛会裡に終了した。また, 説明会終了後の企業担当者との交流会(立食懇談会)は, 参加者約100名(内学生60名)と大変好評であった。

春の日差しが暖かな開催初日から一転, 二日目以降は冬の寒さに逆戻りの雨天の中での開催であったが, 3日間無事に講演を終了することができた。

千葉工業大学の小林政信先生および小澤俊一先生を始めとするお世話頂いた先生方, アルバイト学生の皆様, 職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始, 万端のご配慮をいただき, ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

